

GlycoTOKYO2018 シンポジウム (12月1日)

会場 理化学研究所 鈴木梅太郎ホール

(理化学研究所 和光キャンパス: 〒351-0198 和光市広沢 2-1)

主催 GlycoTOKYO

共催 理化学研究所

(このシンポジウムは、理研シンポジウムの一環として行われています)

13:00-13:05 開会の辞

13:05-13:55 GlycoTOKYO 奨励賞講演

13:05-13:30 Dr. Ding Feiquing (理化学研究所)

Stereodivergent Glycosylation with Bimodal Glycosyl Donors

13:30-13:55 苫米地 祐輔先生(東海大学)

エンドグリコシダーゼを用いた糖鎖複合体の合成研究

13:55-14:15 休憩

14:15-14:50 野上敏材先生(鳥取大学)

電解グリコシル化反応の可能性: 自動化から環状オリゴ糖合成まで

14:50-15:25 津本浩平先生(東京大学)

FcR-Fc 相互作用解析と次世代バイオ医薬品開発

15:25-16:45 ポスターセッション

16:45-17:20 佐藤ちひろ先生(名古屋大学)

遺伝的要因と環境要因が及ぼすポリシアル酸の変動と精神疾患

17:20-17:55 遠藤玉夫先生(都健康長寿医療センター研究所)

糖鎖構造から分かること、分かったこと

17:55-18:00 閉会の辞

18:00-20:00 懇談会・ポスター賞受賞式